

2015.10 興元寺法話

絶対真理の阿弥陀仏に対比する絶対悪は存在しません。

私達の世界は、真実か不真実か、善か悪か、正しいか間違いか、勝つか負けるかと比較できる相対的世界です。

阿弥陀仏は絶対的絶対の世界なので、本当は比較するものが存在しません。

私達はつい、善か悪かで物事を見ますが、絶対悪が存在すれば、無限に救済する阿弥陀仏の世界が破綻します。対立すれば相対的絶対であり絶対真実にはならないからです。

でも、私達の世界を構成する煩惱はどうしても阿弥陀仏の世界観を消したいのです。それは、阿弥陀仏の救済で煩惱の存在意義が無くなるのが許せないから、絶対善の阿弥陀仏に対抗して絶対悪を描き出しているのです。

だから、「こんな私でも救われるのでしょうか」と阿弥陀仏の救済を試すような言葉が出るのです。

地獄行きの私であると自覚しても、それは煩惱が阿弥陀仏を否定している姿なのです。

どちらが勝つかと言えば、阿弥陀仏が絶対に勝つのです。煩惱が奇跡を起こして阿弥陀仏に勝つことは絶対不可能です。

それが少しわかれば、安心が生まれます。合掌

写真は三宅八幡のお祭り

